

会 議 議 事 録

1 会議名	第10次第5回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	平成29年11月16日（木曜日） 午後2時から午後3時20分まで
3 開催場所	寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	<p>合計36名</p> <p>○審議会委員（17名）</p> <p>会長：馬場省吾 副会長：仁木正哉</p> <p>委員：渡辺道郎、田中暁美、小林美枝子、菊地紅子、大島峰子、 田中里美、牧野知津子、玉木康子、加藤一平、笠井久子、 榊原眞知子、関さとみ、佐野ゆり江、栴澤アイ子、南雲香苗</p> <p>○事務局（19名）</p> <p>環境部長：若月和浩</p> <p>環境政策課 課長：宮島義隆</p> <p>環境施設課 課長：野口明夫 課長補佐：武内豊</p> <p>鳥越クリーンセンター所長：吉井義勝</p> <p>環境業務課</p> <p>課長：小林伸治、課長補佐：児玉清隆、総括副主幹：久保倉淳</p> <p>減量推進係長：広田高志、主査：多田通郎</p> <p>中之島支所市民生活課環境係長：宮部一雄</p> <p>越路支所市民生活課環境係長：鷺頭正一</p> <p>三島支所市民生活課課長：小林哲</p> <p>小国支所市民生活課環境係長：峯村克夫</p> <p>和島支所市民生活課環境係長：高橋聡</p> <p>寺泊支所市民生活課環境係長：吉澤光彦</p> <p>栃尾支所市民生活課環境係長：仲野靖</p> <p>与板支所市民生活課環境係長：井村昭夫</p> <p>川口支所市民生活課課長：高橋義法</p>
5 欠席者名	委員：山田紀伊子、高橋愛、丸山将範、林隆生

6 議題	<p>1 部長あいさつ</p> <p>2 報告事項 (1) 資源物持込み支援活動促進事業の状況について (2) 廃食用油の回収拠点の拡充について</p> <p>3 議題 (1) 平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画について 平成30年度ごみ処理計画(概要) (2) 長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について ア 素案について イ 愛称・キャッチフレーズについて</p> <p>4 閉会</p>
7 審議結果の概要	<p>第10次5回目の審議会。平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画(平成30年度ごみ処理計画(概要))及び長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(素案)等について意見を伺った。長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(素案)については、表紙に掲載する愛称・キャッチフレーズについて検討していただいた。事務局が策定した平成30年度ごみ処理計画(概要)及び長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(素案)等が承認された。</p>
8 審議の内容	
<p>会長</p> <p>環境業務課 課長</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>環境業務課 課長補佐</p> <p>委員</p> <p>会長</p> <p>委員</p>	<p>・若月環境部長あいさつ ・資料確認</p> <p>次第の「2 報告事項」の(1)と(2)をあわせて、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(報告事項について資料1により事務局説明)</p> <p>ただいまの説明について、ご質問はありませんか。 「長岡市ごみ情報誌(vol.38)」3ページの下の方に資源物の持込み支援を行う団体を募集しているということと、使用済み天ぷら油の店頭回収についての記載があります。使用済み天ぷら油の店頭回収は、回収場所が2か所増えたという説明がありました。</p> <p>与板支所の記載がありませんが、回収場所でなくなったのでしょうか。</p> <p>資料1表の上から3つ目の「各支所1階(川口支所を除く)」に含まれています。</p> <p>承知しました。</p> <p>各支所を含め全部で29か所ということですね。</p> <p>糸魚川市がガソリンスタンドに廃食用油の回収拠点を設置して成果をあげているという話を聞いています。長岡市ではガソリンスタンドに拠点を設置するという考えはないのでしょうか。</p>

環境業務課 課長	長岡市の現時点での考え方は、まず公共施設に置き、その次には買い物のついでに寄る場所ということです。ガソリンスタンドは同じ油を取り扱うところだからという考えで実施されていると思います。今後、可能性がないわけではありませんが、今のところは商店、お買い物のできるところで拡充を進めているところです。
会長	よろしいでしょうか。他にございませんか。拡充を進めているということは、また増える可能性があるということですか。
環境業務課 課長	はい、スーパーへの働きかけや、街中にもできないかなど、関係機関と調整中です。
会長	ありがとうございます。他になければ次に進めたいと思います。 それでは、次に次第の「3 議題」に入らせて頂きます。 まずは、議題（1）「平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画について」、事務局から説明をお願いします。
環境施設課 課長	(資料2により事務局説明)
会長	ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。 資源物の回収量が増えてきたということは、資源ごみとして出すことが広まったと理解してよろしいですか。
環境施設課 課長	昨年、枝葉・草と古紙で一番大きく減少したのは枝葉・草でした。これについて分析したところ、土曜日の持ち込みをやめたということが原因と考えられました。土曜日の持ち込みを復活して回収しているということで、その分持ち込みやすくなったということで回収量が増えていると分析しています。
会長	わかりました。それでは、平成30年度の計画量に応じて、実施計画の策定をお願いします。 それでは続きまして、議題の（2）「長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について」、まずは素案について、事務局から説明をお願いします。
環境業務課 課長	(議題（2）について長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）の冊子により説明)
会長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。 達成目標のグラフは22ページ、23ページですね。
環境業務課 課長	はい、22ページ、23ページが項目ごと、年度ごとの推移になります。
会長	トレンド予測値というのがありましたが、どういう数値なのかわかりやすく説明してください。
環境業務課 課長補佐	35ページをご覧ください。将来人口及びごみ量の推計フローというのがございます。その上にアとして一次傾向線、イとして一次指数曲線、ウ べき

<p>会長</p>	<p>乗曲線、エ 対数式、オ ロジスティック式というのが書いてあります。 一番わかりやすいのが次の36ページ、見ていきますとそれぞれの出し方で数式が35ページの上段の方に書いてございますけれど、それに基づいて推計値を求めています。その中で一番長岡市の無理のない計画、それから今後の現実的な予測の中でどの式が一番いいのか、ということで出したものです。 例えば燃やすごみでしたら採用はべき乗曲線だとか、生ごみは、べき乗曲線ということになります。ただし、39ページの粗大ごみにつきましては、排出量が多い年度と少ない年度があり、このようなときはどうすべきかといいますと、トレンド方式ですと相関が低いものですから検討した結果、平均値としようとか、また、41ページの有害危険物だったらロジスティック式など、増減が最も緩やかになる式を選びました。そういうふうに検討を進めましてそれぞれの式を選んでいきます。それがトレンド予測式となっています。</p>
<p>環境業務課 課長補佐 会長</p>	<p>ありがとうございます。ごみの種別によって、採用した予測式が異なるわけですね。</p> <p>はい、一番現実にあったものを選定しました。</p> <p>わかりました。ありがとうございます。他に何かご質問等はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>21ページの重点項目の中に、「3 生ごみバイオガス化によるごみの資源化と有効活用」があります。生ごみは現状の施設において、今のごみ量が適量なののでしょうか。それとも、運用上もっとあった方がいいのでしょうか。新潟日報で生ごみの施設の視察の記事が出ていました。その記事には目標達成していないと書かれていたと記憶しています。そのようなこともあり、今の生ごみの出し方でよろしいのかをお聞きしたいのです。</p>
<p>環境施設課 課長</p>	<p>生ごみの処理につきましては、現状の量で発酵処理といった施設に関する話では支障がない量を出していただいているという状況です。 新潟日報の取材では計画値という言葉があったのですが、まず生ごみは元々燃やすごみとして出していたので、生ごみが市内にどのくらいあるのかという実績がなく、先行事例における値や割合等を参考に推計して、長岡市における量を想定したのが計画値になっています。 現実には集まっている量は計画値より少ないということになっていますが、生ごみについてはこれからずっと市民の皆さんから分別のご協力をいただくという流れの中で、最初は燃やすごみは3回出していたものが、その中で2回を生ごみ、1回を燃やすごみということになったわけです。燃やすごみについては当初、ごみステーションであふれたということもありましたが、市でも資源の回収を検討して、今は、燃やすごみについては問題無く収集されていると思います。 生ごみについては、においの問題がありますので、夏場であれば3回出していたものが生ごみだけ2回ということになると、においの強い夏場になるのもっと出したいという希望があった中で、燃やすごみに生ごみも入れていいです、と市は啓発していますので、どうしても単純に3分の1は燃やすごみに入っている可能性があり、その分は計画から減っているのは現実かなと思います。それについては、市から市民の皆さんに対して、においの問題はあるけれど、極力分別をお願いして生ごみとして出していただくように啓発を努力していきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>それについて、高齢者は余計、分別はできないことはないが面倒くさくな</p>

<p>環境業務課 課長補佐</p>	<p>って、なんでも週1回の燃やすごみに出せばいいというのが皆さんに通る文句になってきたような気がします。そうしますと、黄色い燃やすごみの中に相当生ごみが混合する可能性が強くなっていくと思って不安を感じます。</p> <p>においも、私が会合の中で聞いたのですが、生ごみくさくてもポリの袋に入れておけば一週間大丈夫という方がいらっしゃるようです。そうすると、じゃあ私もそうしようと、生ごみ用のピンク色の袋を買わない、という方が増えてきています。</p> <p>だから、寺泊とか魚など生ものを利用しているところから、においが気になるから週3回にしてください、という意見が出たから生ごみを燃やすごみに出してもよいことにした、ということはこの会合で聞きました。寺泊の方が生ごみの出し方で週2回分別して出すことが少なくなっているのではないかと思いますし、それが集計に反映しているのではないかと、把握されてもいいかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ごみ減量推進の立場から補足させていただきたいのですが、私ども今回の計画の中にも食品ロスの削減という項目を設けております。</p> <p>また、多くの市民の方からのご協力を得やすい方法というのを、もちろん市民の方から分別でかなりのご負担をいただいているものですから、間を取りながら、環境にやさしくて全体のごみの量の減量というのが目的でございますから、生ごみバイオガス化にまわる量が少なくなると、私ども減量に取り組んでいるものの成果、ということもございます。</p> <p>また、燃やすごみの組成調査もやっています。その中に入っている量を考えて、啓発して呼びかけていきますけれど、あまり汲々としてますと今度逆にご協力が得にくくなるのかな、と考えていますし、結果的に生ごみをいっぱい出してくださいというお願いよりも食品ロスを削減し、コンポストの補助などもやっておりますので、出てこないに越したことはないのかな、というのが、私ども減量に取り組む者の立場でございます。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。ご意見ありがとうございます。他に何かご質問、ご意見はありませんか。</p> <p>事業者の役割というところで、レストランや飲食店ではごみはきちんと分別されて、生ごみは生ごみとして出されているのでしょうか。回収者が燃えるごみでも生ごみでもプラでも一緒に回収しているイメージがあるのですが。以前新潟日報を読んでいたら、事業者の生ごみも何割かはごみステーションに出していいようなことが書かれていた気がするのですが、事業者のごみはどうなっているのでしょうか。</p>
<p>環境業務課 課長補佐</p>	<p>現実問題として、事業されている方は生ごみと燃やすごみは分けて出されている方もいますし、金額的な問題もあるので、一緒に燃やすごみで処分されている方もいると思います。</p> <p>ごみステーションに出していい量というのは、普通一般的に事務をやっているような事業所を想定して、日常家庭で出るようなごみであれば町内の許可を得て、ステーションに二袋まで出してよい、という形です。</p> <p>飲食業の方は燃やすごみに出されている方と分けて出されている方いらっしゃると思います。</p> <p>長岡市の業務としては、家庭の一般廃棄物を担当しておりますが、次の計画の26ページにも出ておりましたけれど、「おいしい食べきり協力店制度を検討し取り組みを拡大していきます」という項目を設けています。少しずつ事</p>

<p>会長</p>	<p>業者にも協力を求めて、できれば委員がおっしゃるような分別に持っていければという願いを込めながら、徐々に事業系の一般廃棄物の分別についても力を入れていければと、次の5年間の計画に入れています。急に事業者の方に分けて出してくださいとはいかないと思います。</p> <p>また、産業廃棄物の問題もごさいます。食品製造業ですと、産業廃棄物という区分になって一般ごみとして処理できない部分もごさいます。少しずつ事業者の協力を得られる施策を打ち出していきたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>ちよつとごみの減量と違いますけれど、5ページ左の水色の帯の中に地域の名称が載っています。これは合併した順序ではないかと思ひます。合併して10年も経過しているのひで、50音順とか北から位置する順とか南から位置する順に見直す予定はないのでしょうか。合併した地域に住むものとして、違和感があります。</p>
<p>環境部長</p>	<p>大変貴重な意見だと思ひます。最初に合併した平成17年4月1日からもうすでに12年経過してひて、市役所全体でまだ委員がいわれるとおりの旧来型できてひます。ここだけでどうするかというのは簡単ですが、意見をお伺ひして市全体で考えなければいけないことだと思ひますので、預からせていただひて検討させていただきたいと思ひます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは本日の意見を踏まえて、事務局で検討を進めていただきたいと思ひます。</p> <p>この議題については、次回の審議会でも議題とし、ご審議いただく予定ですので、よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、ごみ処理基本計画の愛称・キャッチフレーズについて検討したいと思ひます。事前に送付させていただいた、「愛称・キャッチフレーズ検討資料」をご覧ください。</p> <p>これは、委員のみなさんから事前に提出いただいたものをまとめたものです。中には不要という意見や現行のもので良いとの意見もごさいます。</p> <p>検討の進め方ですが、これからグループに分かれてこの資料を参考に話し合っただき、各グループで候補となる愛称・キャッチフレーズを決めて発表していただきます。資料に載っていない、新しいものを考えていただひても結構です。</p> <p>グループ分けは、お配りしてある委員名簿の右側に掲載してあります。各グループの進行役と発表役は、私から指名させていただきます。</p> <p>Aグループの進行役は私が、発表役は田中委員にお願ひします。</p> <p>Bグループの進行役は渡辺委員に、発表役は牧野委員にお願ひします。</p> <p>Cグループの進行役は仁木委員に、発表役は関委員にお願ひします。</p> <p>では、今から15分間、グループに分かれて話し合いをしてください。それでは、お願ひします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、話し合いを終えていただき、各グループから候補となるものを発表していただきます。</p> <p>まずは、Aグループ お願ひします。次に、Bグループ お願ひします。最後に、Cグループ お願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>Aグループは、最初に3Rという言葉に浸透させたいという意見が出ましたけれど、3R という言葉はなかなかシニア世代にはわかりにくいのではないかという意見が出ました。3Rと同じような意味で循環型という言葉をい</p>

委員	<p>れようという話になりました。長岡という言葉も長岡らしさを入れるために最初使おうと思ひまして「長岡循環型まちづくり」というのはどうかという意見が出ましたが、その他に「次世代につなぐ」という、今の私たちよりも先に目を向けていこうという意味で入れたらどうかという意見が出ました。長岡を入れるとちょっと長くなりますので、結果として「次世代につなごう循環型まちづくり」に落ち着きました。以上です。</p> <p>Bグループは、まず愛称・キャッチフレーズがあつた方がいいか、ない方がいいかというところから議論が始まりまして、ないよりあつた方がわかりやすいのではないかとということで、基本計画に対する愛称というよりは、市民に分かりやすいという観点で検討しました。親しみのあるイメージを持ってほしいということで、内容を分かりやすく伝えられるキャッチフレーズということで考えました。</p> <p>3Rっていうのも、一般市民にはわからない人が多いのではないかとということで、普段すぐ目に留まるように、お金がかからなければ、ゴミ袋にキャッチフレーズを入れると目に入るというか、見てもらえるのではないかと意見も出ました。</p> <p>3Rのリサイクルはわかりませんが、リユースという言葉は親しみがないということと、3Rはやっぱり親しみがないということで話がでまして、「地球に大きく3Rのピンづめ」という意見が出ましたが、ごみは捨てるのが前提じゃなくて、利用できるっていう意識を持つのがごみの削減につながるという方向に行きまして、「捨てたらごみ、分けたら資源」という言葉が一番わかりやすいというか、インパクトがあるということでまとまって、この中で「捨てたらごみ、分けたら資源」という言葉にもうひとつ言葉があるといいというところまで意見が出ました。</p>
委員	<p>Cグループは、キャッチフレーズっていうよりも標語みたいものの方が一般的に耳に残るのではないかっていう話が最初に出ました。あと、考えていく中で、一般市民の目線でキャッチフレーズを作っても、行政の目線でとどまるのではないかな、という意見も出ましたし、「ごみ化しない」「クリーン」という言葉を入れたらどうかとか、聞こえの良い「グリーン」とか「スマート」とかいう言葉の方が頭に残るのではないかという話は色々出ました。</p> <p>B班の発表にもありましたけれど、ゴミ袋の黄色・青・赤に文字を作るのであればキャッチフレーズをそこに印刷してみんなの目に少しでもふれたら良いのではないかという意見が出ました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。発表いただいた意見を参考に、後は、私と事務局に一任させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>ありがとうございます。これで、本日予定していた審議は終了します。貴重なご意見、活発なご審議をいただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
環境業務課 課長補佐	<p>馬場会長、ありがとうございます。</p> <p>予定していたものは、以上になります。以上をもちまして、第5回の審議会を閉会させていただきます。</p> <p>2月に、ごみ処理基本計画のパブリックコメントを実施した後に、次回は3月の開催を予定しております。本日は、誠にありがとうございました。</p>

9 会議資料 別添のとおり